

(田原市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 18 校、中学校 4 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		1 人
		地域学校協働活動推進員		16 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		0 人
		地域コーディネーター		0 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 7 校	中 3 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 6 校	中 2 校	



(活動の実際)

<地域学校協働活動推進員を配置している学校で行っている活動>

○ボランティアの募集・依頼・登録時の説明

- ・登下校の見守り
- ・環境整備（草取り、樹木の剪定・伐採）

○学校や地域の行事に関わる依頼・主催

- ・職場体験先の依頼・新規開拓
- ・職業や福祉を学ぶ会の講師依頼
- ・中学生によるボランティア活動の補助
- ・CS カレンダーの作成

○中学生や地域の人たちの熟議の場の設定・運営・広報

<工夫していること>

- ・生徒たちが地域の方々と顔見知りになり、困った時に助け合える環境をつくっている。
- ・活動の様子をまとめたおたよりや学校ボランティアの募集用紙を発行し、全家庭に配布したり回覧板で地域に発信したりしている。

(◎成果と●課題)

- ◎地域学校協働活動推進員が配置されたことにより、スムーズに学校支援活動に取り組むことができた。
- ◎学校運営協議会では、学校側からは困っていることや助けをお願いしたいこと、地域側からは子供たちのために地域の人ができること等の意見が活発に出ており、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で子供を育てようとする意識が高まっている。
- ◎中学生によるボランティア活動については、生徒が自主的に活動に参加できる機会が増え、活動への意識が高まっている。
- 地域住民に地域学校協働活動が周知されていないため、ボランティア登録をしてくださる方がなかなか増えない。活動を継続するためにも、広報の充実や人材の発掘が必要である。

(関係者の声) =できるだけ多様な立場の方々の御意見を記入

- ・学校の子供や先生と多く関わることによってつながりができ、地域においても子供たちに声がかげやすくなった。(ボランティア)
- ・できることを考えたいので、各小中学校の学校運営協議会や地域学校協働活動の現状等、学校運営協議会会長や地域学校協働活動推進員が集まって情報共有をする場を設けてほしい。(学校運営協議会会長)
- ・中学生のボランティア活動の内容が広がっているので、ボランティアとして中学生の活動を支援することで、一人一人の興味関心に応じた活動ができるようにしていきたい。(地域学校協働活動推進員)
- ・地域学校協働活動推進員に相談することで、地域の状況がより理解できた。また、市の統括的な役割を果たす推進員との懇談の場を設けてもらったことで、推進員の具体的な取組につながった。(教員)